

令和7年度佐賀県健康づくり財団事業報告

I 庶務の概況に関する事項

財団運営のための庶務的事項として下記の会議等を開催しました。

1. 評議員会

① 定時評議員会（1回開催）

◇日 時：令和7年6月19日（木） 18時～18時30分

◇場 所：佐賀メディカルセンタービル 4階 城内記念ホール

◇報 告

（1）令和6年度佐賀県健康づくり財団事業報告について

◇議 事

第1号議案 令和6年度佐賀県健康づくり財団決算について（監査報告）

② 書面評議員会（2回）

◇送付日：令和7年4月18日

◇決議日：令和7年4月22日

◇議 案：評議員1名及び監事1名の選任について

◇送付日：令和7年8月18日

◇決議日：令和7年8月25日

◇議 案：理事1名及び監事1名の選任について

2. 理事会

① 通常理事会（4回開催）

■第1回通常理事会

◇日 時：令和7年5月22日（木） 18時～18時30分

◇場 所：佐賀メディカルセンタービル 4階 城内記念ホール

◇報 告

（1）代表理事及び業務執行理事の職務執行状況に関する報告について

◇議 事

第1号議案 令和6年度佐賀県健康づくり財団事業報告について

第2号議案 令和6年度佐賀県健康づくり財団決算について（監査報告）

第3号議案 令和7年度定時評議員会の日時・場所・議案について

■第2回通常理事会

◇日 時：令和7年9月18日（木） 18時～18時17分

◇場 所：佐賀メディカルセンタービル 3階 研修室

◇報 告

（1）代表理事及び業務執行理事の職務執行状況に関する報告について

◇議 事

第1号議案 公益財団法人佐賀県健康づくり財団研修施設使用規程の一部改正について

■第3回通常理事会

◇日 時：令和7年12月11日（木） 18時～18時15分

◇場 所：佐賀メディカルセンタービル 4階 城内記念ホール

◇報 告

（1）代表理事及び業務執行理事の職務執行状況に関する報告について

◇議 事

審議議案なし

■第4回通常理事会

◇日 時：令和8年3月12日（木） 18時～18時30分

◇場 所：佐賀メディカルセンタービル 4階 城内記念ホール

◇報 告

（1）代表理事及び業務執行理事の職務執行状況に関する報告について

◇議 事

第1号議案 令和8年度佐賀県健康づくり財団事業計画について

第2号議案 令和8年度佐賀県健康づくり財団収支予算について

第3号議案 令和8年度佐賀県健康づくり財団資金調達及び設備投資の見込みについて

第4号議案 令和7年度佐賀県健康づくり財団特定資産積立金について

第5号議案 公益財団法人佐賀県健康づくり財団研修施設使用規程の一部改正について

② 書面理事会（2回）

◇送付日：令和7年4月11日

◇決議日：令和7年4月14日

◇議 案：評議員1名及び監事1名の選任に関する評議員会への提案内容及び提案方法について

◇送付日：令和7年8月7日

◇決議日：令和7年8月8日

◇議 案：理事1名及び監事1名の選任に関する評議員会への提案内容及び提案方法について

3. 常務理事会（46回開催）

毎週木曜日

ただし、通常理事会開催週は除く

4. 監査会（1回開催）

令和7年4月24日（木）

5. 委員会

① 事業推進委員会（12回開催）

② 学校検診委員会・学校心臓検診専門委員会合同会議（2回開催（うち1回は書面開催））

③ 臨床検査精度管理委員会

・委員会（2回開催（うち1回は書面開催））

・調査解析作業部会（3回開催）

6. その他の事業・会議

行事・会議等	開催日	場 所	出席者
第56回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会施設長会	4月12日(土)	JR 博多シティ	枝國副理事長 木下課長補佐
令和7年度第1回佐賀県臨床研修運営協議会	5月26日(月)	佐賀メディカルセンタービル	佐野専務理事
CLIMB®プログラムファシリテーター養成講座	5月31日(土) ～6月1日(日)	JR 博多シティ	がん相談員(1名)
第56回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会	7月5日(土) ～7月6日(日)	ホテルニューオータニ博多	志田理事長、森永副理事長、枝國副理事長、甲佐常務理事、岩野課長補佐、眞崎課長補佐、徳久課員
全国医師会共同利用施設施設長検査健診管理者連絡協議会	7月11日(金) ～7月12日(土)	姫路商工会議所	門田課長 山口課長
CLIMB®親プログラム・ファシリテーター養成講座	7月13日(日)	オンライン	がん相談員(1名)
2025年度日本対がん協会全国事務局長会議	7月17日(木)	国立がん研究センター	清水課長
令和7年度九州学校検診協議会第1回専門委員会	7月26日(土) ～7月27日(日)	ホテルニューオータニ佐賀	古川(美)課員 若林(夕)課員
第1回佐賀県がん対策等推進協議会子宮がん部会	8月21日(木)	書面開催	田中(浩)主任
企業幹部人権・同和問題研修会	8月27日(水)	メートプラザ佐賀	清水課長、深見課員
第31回全国医師会共同利用施設総会	8月30日(土) ～8月31日(日)	高崎芸術劇場 ホテルメトロポリタン高崎	志田理事長、森永副理事長、枝國副理事長、田中(涼)課長補佐
さが健康維新県民会議2025	9月2日(水)	ホテルマリタール創世佐賀	志田理事長 水町部長
令和7年度結核予防会複十字シール運動担当者第1回オンライン会議	9月2日(火)	オンライン	木下課長補佐 小菅課員
2025年度がん征圧全国大会	9月18日(木) ～9月19日(金)	神戸ポートピアホテル	佐野専務理事 清水課長
令和7年度第2回佐賀県臨床研修運営協議会	11月10日(月)	佐賀メディカルセンタービル	佐野専務理事
第55回九州地区結核予防婦人団体幹部講習会	11月10日(月) ～11月11日(火)	佐賀メディカルセンタービル	志田理事長、甲佐常務理事、梶原局長、清水課長、木下課長補佐、深見課員

令和7年度九州学校検診協議会第2回専門委員会	11月15日(土)	オンライン	吉永課長補佐、土井主任、若林(夕)課員
令和7年度結核予防会・日本対がん協会九州・沖縄各県支部合同会議	11月28日(金)	アートホテル大分	門田課長 山田(尚)課長補佐
2025年度日臨技精度管理調査総合報告会	11月29日(土)	オンライン	岩野課長補佐
令和7年度第2回復十字シール運動担当者会議	12月2日(火)	結核予防会本部	小菅課員
第2回佐賀県がん対策等推進協議会子宮がん部会	12月15日(月)	佐賀県庁	田中(浩)主任
令和7年度結核予防会全国支部事務連絡会議	1月30日(金)	アルカディア市ヶ谷	木下課長補佐
令和7年度佐賀県がん対策推進協議会乳がん部会	2月2日(月)	佐賀県庁	福山主任
第55回九州地区結核予防婦人団体幹部講習会監査	2月5日(木)	佐賀メディカルセンタービル	梶原局長、清水課長、 木下課長補佐、 深見課員
令和7年度第1回佐賀県循環器病対策推進協議会	2月12日(木)	佐賀県庁	水町部長 (代理出席)
RFLJ 2025年度サミット&2026年度キックオフミーティング	2月22日(日)	国立がん研究センター	清水課長
令和7年度第3回佐賀県臨床研修運営協議会	3月2日(月)	佐賀メディカルセンタービル	佐野専務理事
令和7年度佐賀県がん対策等推進協議会胃がん及び大腸がん部会	3月11日(水)	佐賀県庁	水口健診医 門田課長
令和7年度日医臨床検査精度管理調査報告会	3月13日(金)	オンライン	森田課長補佐
輸血テクニカルセミナー2025	3月14日(水)	東邦大学医学部	川内課員
第3回佐賀県がん対策等推進協議会子宮がん部会	3月16日(月)	佐賀県庁	田中(浩)主任
第77回結核予防全国大会	3月17日(火) ～3月18日(水)	A N Aクラウンプラザホテル松山	甲佐常務理事、 恒松課員
令和7年度佐賀県がん対策等推進協議会	3月23日(月)	佐賀県庁	水町部長、がんピアサポーター(1名)

Ⅱ 公益目的事業の概況に関する事項

公益目的事業として下記の8つの事業を実施しました。

1. 保健啓発事業
2. 調査研究事業
3. 保健活動従事者研修事業

- 4. がん患者保健支援事業
- 5. 健診事業
- 6. 健診結果フォロー事業
- 7. 関係団体への施設貸与事業
- 8. 臨床検査事業

1. 保健啓発事業

県、市町、佐賀県医師会、がん患者会等の各種団体と連携し、当財団が保有している専門的な知見（疾病、予防医学、医療、保健向上のための課題等）や情報（疾病罹患の状況、健診の方法や効果、県民自らできる健康づくりの取り組み等）を活用して、健康づくりに関する正しい知識と予防思想の普及啓発に取り組みました。

（１）市町保健施策等への支援

市町の健康づくり担当者を対象とした会議を開催し、健康診断（以下「健診」という。）の普及や精度管理、有効な健診を実施するための意見交換を行うとともに、当財団が実施した健診結果の集計・分析結果や健診の課題等を紹介し、市町の保健事業の推進、当財団と市町との協力関係の構築を図りました。

なお、減少傾向にある受診者数が本年度も思うように改善しないことから、受診数の確保に向けての対策等について意見交換を行いました。また、がん検診率の向上に向けて、がん対策推進基本計画（国・県策定、H20年度～）が推進される中、市町ごとのがん検診の集計結果、がん・がん疑い受診者の追跡調査・分析の結果を各市町に提供し、市町の保健政策の推進を支援しました。

（市町健康づくり担当者を対象とした会議開催状況）

○第１回

- ◇日 時：令和 7 年 9 月 26 日（金）14 時～15 時 15 分
- ◇会 場：佐賀メディカルセンタービル 3 階 研修室（東）
- ◇内 容：1. 令和 8 年度がん検診広域化事業（子宮・乳・対策型胃内視鏡）の料金説明
2. 令和元年度～令和 6 年度の特定健診及び各がん検診の実績報告
3. 令和 8 年度市町集団健診（検診）の料金説明
4. 令和 8 年度巡回健診日程調整方法の変更

○第２回

- ◇日 時：令和 8 年 2 月 19 日（木）14 時～14 時 50 分
- ◇会 場：佐賀メディカルセンタービル 3 階 研修室（東）
- ◇内 容：1. 各種がん検診等の実施要項
2. 自覚症状の市町集団健（検）診結果報告書印字について
3. がん検診精密検査依頼書様式の一部変更
4. 市町提供の住基データ項目並び受診券データレイアウト
5. 市町集団健（検）診料金の一部改定
6. 市町集団健（検）診書の様式変更
7. 個別特定健診等データの締め日及び提出日の一部変更
8. 令和 8 年度巡回健（検）診市町担当者の変更

（２）講演会等を通じた啓発

健診受診率の低迷が続く中、県民の健康づくりへの関心を高める必要から、県内で開催される講演会やイベント等に、当財団職員等を積極的に派遣するとともに、一般県民向けに独自の健康づくり講演会も開催し、啓発活動を充実してきました。

① 2025がん征圧県民のつどい

◇日 時：令和 7 年10月 4 日（土）13時～16時

◇場 所：アバンセ（佐賀市）

◇参加者：一般県民 約280名

◇広 報：新聞広告、市町広報、案内チラシ配布

◇講 演：「ガンが教えてくれたこと～自分に向き合って見つけた夢～」

◇演 者：歌手 木山 裕策

◇ホワイエ：・がん相談コーナー、がん患者団体コーナー

・レントゲンフィルム展示

・細胞診画像展示

・乳がん触診モデル展示

・ピンクリボン運動キャンペーン

・R F L 紹介コーナー

・生活習慣病情報コーナー（佐賀県国民健康保険団体連合会）

◇主 催：公益財団法人佐賀県健康づくり財団

◇後 援：佐賀県、日本対がん協会、佐賀県女性と生涯学習財団、佐賀大学医学部附属病院、佐賀県医療センター好生館、唐津赤十字病院、嬉野医療センター、伊万里有田共立病院、公立佐賀中央病院、佐賀県市長会、佐賀県町村会、佐賀県医師会、佐賀県歯科医師会、佐賀県薬剤師会、佐賀県看護協会、佐賀県栄養士会、佐賀県商工会議所連合会、佐賀県商工会連合会、佐賀県地域婦人連絡協議会、九州国際重粒子線がん治療センター、佐賀県国民健康保険団体連合会、佐賀県保険者協議会、全国健康保険協会佐賀支部、健康保険組合連合会佐賀連合会、佐賀産業保健総合支援センター、NPO法人クレブスサポート、サガテレビ、NHK佐賀放送局、NBCラジオ佐賀、エフエム佐賀、えびすFM、ぶんぶんテレビ、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、佐賀新聞社、西日本新聞社（順不同）

（３）各種イベントと連携した啓発

民間のイベント事業と連携し、当財団のブースを設けたり、検診車の見学会を行ったりして、県民の保健意識の高揚を図りました。

① リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025佐賀

◇日 時：令和 7 年10月 4 日（土）16時～21時

◇会 場：どんどんの森広場→アバンセホール（雨天のため移動）

◇主 催：リレー・フォー・ライフ・ジャパン佐賀実行委員会

公益財団法人日本対がん協会

◇内 容：1. 各患者団体活動ブースを設置

コスモスの会、リボンの会、がんの子どもを守る会、日本オストミー協会佐賀県支部等各団体でチャリティ活動等を実施。

2. 交流スペースを設置（出張“さんでーサロン i n R F L”の開催）
スタッフにがん相談員を配置。
患者団体と一般参加者との交流、一般参加者同士の交流のためのスペースを設置。
3. チームテント内での啓発活動
 - ・がんに関するパネル掲示、各種資料の配布
 - ・チーム参加者休憩スペース佐賀県がん患者団体等と協力し、がんに関する情報提供を行った。

② がん検診啓発活動

日本対がん協会発行の乳がん・子宮頸がん無料クーポン券を活用し、佐賀県健診・検査センター2Fで検診を実施し、受診者に対してがん検診の必要性を啓発するとともに、継続的な受診を呼びかけました。

（４）インターネットや広報誌を通じた広報・啓発

当財団のホームページ、広報誌『さが健財だより すこやか』により、生活習慣病等についての知識、健康づくりに取り組む事業所の紹介、健康づくりの実践のすすめなどの情報を提供しました。

① 『さが健財だより すこやか』の発行

- ◇発行回数：年間2回（夏号・新春号）
- ◇送付先：県、市町、医療機関、薬局、事業所等
- ◇発行部数：4,000部／各号
- ◇サイズ：A4サイズ／各号
- ◇ページ数：6ページ／各号

（５）公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会と連携した広報・啓発

① 結核予防週間の取組み及び複十字シール募金運動

- ・ 県知事の表敬訪問

結核予防会による複十字シール運動が8月1日より開始されることから、当財団では例年通り結核の現状報告と、複十字シール運動の意義を理解頂くと共に、結核撲滅に向けた対策推進に協力して頂くことを目的として8月6日（水）に県知事（代理の健康福祉部長）を表敬訪問しました。

- ・ ライトアップ

結核予防に関する普及啓発のため、結核予防週間（9月24日～9月30日）及び世界結核デー（3月24日）に、佐賀メディカルセンタービル西側を赤色にライトアップしました。

- ・ 募金活動

県庁各課や保健福祉事務所、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、事業所等に対する募金活動、健康を守る佐賀県婦人の会の協力を通じた募金活動を実施し、その募金は公益財団法人結核予防会に集約して、結核に関する医療研究や広報活動等に活用されています。

② がん征圧月間の取組み及び募金活動

・ ポスター掲示及び配布

9月のがん征圧月間に佐賀メディカルセンタービル内の掲示板にがん征圧を呼び掛けるポスターを掲示すると共に、県、保健所、市町、国公立病院、県医師会会員、県歯科医師会会員、県薬剤師会会員、県婦人連絡協議会、報道機関等にポスター計1,000枚を送付しました。

・ 募金活動

啓発活動と合わせて、県や保健福祉事務所、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、事業所等の協力の下、がん征圧のための寄付金（募金）を集め、がん電話相談ダイヤル事業の財源の一部とするなど、がん対策に活用しました。

③ 保健関連刊行物による情報提供

結核予防会、日本対がん協会が、全国の支部を通じて収集した健診情報や保健に関する新たな情報を掲載した定期情報誌「複十字」（結核予防会隔月発行、無料）、「対がん協会報」（日本対がん協会毎月発行、有償購入）を、行政機関や公共施設、当財団が健診を実施している事業所等、約200か所に送付して情報提供を行いました。

※上記保健啓発事業の財源

（１）～（４）の事業は、健診・検査事業収益を財源としています。ただし、（３）の一部は、日本対がん協会のクーポンを利用しています。（５）の事業は、結核予防会本部からの交付金、がん征圧募金及び当財団の健診・検査事業収益を財源としています。

2. 調査研究事業

健診・検査結果、追跡調査結果等のデータを集計分析し、健診・検査事業の精度管理、外部への情報提供に活用しました。

（１）事業年報等の報告書による情報提供

令和５年度に当財団が実施した全ての健診・検査のデータの集計分析結果や研究活動成果を事業年報として取りまとめ、当財団ホームページで公開しました。

なお、同データは、日本対がん協会で行った全国集計及び分析を行い、「がん検診の実施状況」として公表されました。

- ◇内 容：・健診・検査事業における受診者数、受診率、精密検査率、疾病発見数（追跡調査結果）及びその経年変化状況など
・研究事業の発表成果等

（２）学会・学術集会等への参画

がん検診の精度の向上を図るため、がん検診の際のX線撮影や細胞診などに関する学会等に参画しました。

① 学会・学術集会

学会等名	開催日	場 所	出席者
第64回日本消化器がん検診学会総会	6月27日（金） ～6月29日（日）	アートホテル旭川	水口健診医

第66回日本臨床細胞学会総会 春期大会	6月28日(土) ～6月29日(日)	京王プラザホテル 及びオンライン	現地参加 田中(浩)主任 オンライン参加 平野主任、原(美) 課員、江崎課員、龍 臨時職員、中島(秀)臨 時職員
第54回日本消化器がん検診学会九 州地方会	9月27日(土)	J:COMホルトホ ール大分	水口健診医 門田課長
日臨技九州支部医学検査学会	10月18日(土) ～10月19日(日)	シーハットおおむら	川浪課長 五島課長補佐

② 研修会等

研修名	開催日	場 所	出席者
佐賀県医師会医療安全・院内感染 防止対策医療従事者研修会	10月23日(木)	佐賀メディカルセン タービル	岩野課長補佐、藤野 課員、原田課員、金子 課員、西村課員
令和7年度胸部画像精度管理研究 会	12月23日(火)	結核予防会結核研究 所	金丸課員
(佐賀県) 令和7年度地域保健 福祉従事者研修会	1月8日(木)	佐賀県庁	原課員、宮地課員、 古川(侑)課員
診療放射線技師告示研修(基礎研 修・実技研修)	2月28日(土)	NHO佐賀病院	古賀(陽)主任 深川課員
令和7年度前立腺がん検診講演会	3月6日(金)	佐嘉神社記念館	門田課長
(公益財団法人日本対がん協会・ 公益財団法人結核予防会) 令和7 年度診療放射線技師研修会	3月11日(水) ～3月13日(金)	オンライン	深川課員
(日本対がん協会) 第46回保健 師・看護師研修会	3月19日(木)	オンライン	上野課員、桑原課員、 西村課員

(3) がん検診精度管理事業(県委託事業)

がん検診の診断結果、医療機関に対する追跡調査で把握した最終診断結果等を検証し、がん検診の精度管理、検診技術の向上に努めました。

① 肺がん症例検討及び検診技術の評価検討

◇期 日：令和8年3月9日(月) 19時～20時

◇場 所：佐賀メディカルセンタービル 1階 読影室

◇対象者：医師、医療関係者

◇演 題：「令和6年度検診で発見された症例について」

◇演 者：肺がん検診読影委員長・佐賀大学医学部附属病院 放射線科 中園 貴彦
佐賀県健康づくり財団 常務理事 甲佐 和宏

② 乳がん症例検討及び検診技術の評価検討

- ◇期 日：令和8年3月13日（金）19時～20時
- ◇場 所：佐賀メディカルセンタービル 1階 読影室
- ◇対象者：医師、医療関係者
- ◇演 題：「令和5年度検診で発見された症例について」
- ◇演 者：乳がん検診読影委員長・如水会今村病院 岸川 圭嗣

③ 子宮（頸）がん症例検討及び検診技術の評価検討

- ◇期 日：令和8年3月2日（月）
令和8年3月4日（水）
- ◇場 所：佐賀メディカルセンタービル 4階 城内記念ホール

④ 胃がん検診技術の評価検討

- ◇期 日：令和7年10月20日（月）
令和8年3月27日（金）
- ◇開催方法：書面会議

（4）佐賀県市町対策型胃内視鏡検診運営委員会事業

令和2年度から全20市町で実施されている胃内視鏡検診を円滑に、また効率的、効果的に実施するために、運営委員会を開催した。

① 令和7年度第1回佐賀県市町対策型胃内視鏡検診運営委員会

- ◇期 日：令和7年10月20日（月）
- ◇開催方法：書面会議
- ◇参加者：41名

② 令和7年度第2回佐賀県市町対策型胃内視鏡検診運営委員会

- ◇期 日：令和8年3月27日（金）
- ◇開催方法：書面会議
- ◇参加者：41名

（5）臨床検査精度管理事業（佐賀県医師会、佐賀県臨床検査技師会との共催）

① 佐賀県医師会臨床検査精度管理調査

- ◇調査期間：令和7年10月8日（水）～18日（土）
- ◇参加施設：182施設（調査対象施設 52施設／一般参加医療機関 130施設）

② 佐賀県医師会臨床検査精度管理調査報告会

- ◇日 時：令和8年2月7日（土）15時00分～17時30分
- ◇会 場：佐賀メディカルセンタービル 4階 城内記念ホール及びWEB開催
- ◇参加者：現地29名、オンライン接続64名
- ◇対象者：医師、臨床検査技師他
- ◇内 容：①臨床検査精度管理調査の解析報告
②情報提供

「輸血にかかわる病院からのQ & A（医師や看護師に関する内容を中心に）」

佐賀県赤十字血液センター 佐々木 美穂

「赤血球型検査ガイドライン改訂5版ー主要な変更点と現場での実践ー」

佐賀県医療センター好生館 臨床検査技師 西田 千恵

③特別講演

「微生物検査における診断支援～Diagnostic Excellence の概念を含めて～」

佐賀大学医学部附属病院 感染制御部 部長兼特任准教授 的野 多加志

※上記調査研究事業の事業実施形態・財源

（１），（２），（５）は、財団独自の事業で、健診・検査事業収益を財源にしています。（３）の事業は、佐賀県からの委託事業であり、受託料を財源としています。（４）の事業は、市町からの委託事務であり、委託料を財源としています。

３．保健活動従事者研修事業

健診・検査や特定保健指導等の業務に従事する医療資格者のための研修等を実施し、健診等に関する知識・技術の向上を図りました。

（１）がん検診従事者講習会（県委託事業）

① 佐賀県胃癌・大腸癌検診医会研修会及び佐賀県市町対策型胃内視鏡検査運営委員会・胃がん検診内視鏡検査研修会

○第175回

◇期 日：令和7年6月21日（土）16時～17時35分

◇会 場：佐賀メディカルセンタービル 4階 城内記念ホール及びWEB開催

◇対象者：医師、医療関係者

◇基調講演

座 長：佐賀県胃癌・大腸癌検診医会 監事

多久市立病院 院長 後藤 祐大

演 題：「佐賀県の対策型胃内視鏡検診の年次報告と近年の胃癌患者数の動向」

演 者： 佐賀県胃癌・大腸癌検診医会 理事

社会福祉法人恩賜財団 済生会唐津病院

内科部長（光学診療部長） 遠藤 広貴

演 題：「佐賀県大腸癌検診の経年変化と胃癌X線検診の状況報告ー2023年度」

演 者： 佐賀県胃癌・大腸癌検診医会 副会長

公益財団法人佐賀県健康づくり財団 水口 昌伸

◇特別講演

座 長：佐賀県胃癌・大腸癌検診医会 会長

佐賀大学医学部 内科学講座 消化器内科 教授 江崎 幹宏

演 題：「潰瘍性大腸炎の管理と腫瘍発生：臨床医に求められる視点」

演 者： 九州大学大学院 病態機能内科学 講師 梅野 淳嗣

○第176回

◇期 日：令和7年10月25日（土）16時～17時35分

◇会 場：佐賀メディカルセンタービル 4階 城内記念ホール及びWEB開催

◇対象者：医師、医療関係者

◇基調講演

座 長：佐賀県胃癌・大腸癌検診医会 理事

佐賀大学医学部 看護学科 統合基礎看護学講座 教授 坂田 資尚

演 題：「進化する内視鏡鎮静：レミマゾラムの追加承認とこれからの選択肢」

演 者： 佐賀大学医学部 内科学講座 消化器内科 特定講師 山口 太輔

◇特別講演

座 長：佐賀県胃癌・大腸癌検診医会 副会長

佐賀大学医学部附属病院 光学医療診療部 部長/診療教授 下田 良

演 題：「胃神経内分泌腫瘍（NET・NEC）の内視鏡診断」

演 者： 大阪国際がんセンター 消化器内科 副部長 上堂 文也

○第177回

◇期 日：令和7年12月13日（土）16時～17時35分

◇会 場：武雄杵島地区医師会館「会議室」及びWEB開催

◇対 象：医師、医療関係者

◇基調講演

座 長：佐賀県胃癌・大腸癌健診医会 副会長

佐賀県医療センター好生館 副館長 緒方 伸一

演 題：「胃癌化学療 UP-TO-DATE-25年度版ガイドライン改訂のポイント、その後の新展開」

演 者： 国立病院機構 嬉野医療センター 消化器内科 医局 行元 崇浩

◇特別講演

座 長：佐賀県胃癌・大腸癌健診医会 副会長

佐賀県医療センター好生館 副館長 緒方 伸一

演 題：「知っておきたい胃疾患」

演 者： 日本赤十字社 松山赤十字病院 副院長 蔵原 晃一

○第178回

◇期 日：令和8年3月7日（土）16時～17時35分

◇会 場：佐賀メディカルセンタービル 4階 城内記念ホール及びWEB開催

◇対 象：医師、医療関係者

◇基調講演

座 長：佐賀県胃癌・大腸癌検診医会 理事

中原胃腸科内科 院長 中原 伸

演 題：「大腸憩室症ガイドライン改訂の要旨」

演 者： 佐賀県医療センター好生館 消化器内科 部長 富永 直之

◇特別講演

座 長：佐賀県胃癌・大腸癌検診医会 会長

佐賀大学医学部附属病院 消化器内科 教授 江崎 幹宏

演 題：「未来を切り拓く消化器内科－AI・ロボティクスが変える医療現場－」

演 者： 東京慈恵会医科大学 名誉教授 田尻 久雄

② 佐賀県肺がん対策医会セミナー

○第1回（第216回佐賀県胸部疾患アーベント）

◇期 日：令和7年5月23日（金）19時～20時05分

◇会 場：佐賀メディカルセンタービル 4階 城内記念ホール

◇対象者：医師

◇学会報告

演 題：「令和6年度佐賀県肺がん対策医会事業報告、会計報告」

演 者： 佐賀県肺がん対策医会 会長 平塚 昌文

◇特別講演

演 題：「胸部単純X線写真の読影のポイント～正常解剖と知っておきたいサイン～」

演 者： 佐賀大学医学部附属病院 放射線部 准教授 中園 貴彦

○第2回（第217回佐賀県胸部疾患アーベント）

◇期 日：令和7年10月31日（金）18時30分～20時00分

◇会 場：マリターレ創世 4階 グランデピアツァ

◇対象者：医師

◇一般演題

座 長：医療センター好生館 部長 武田 雄二

演 題：「佐賀県健康づくり財団における佐賀県肺がん検診結果報告」

演 者： 公益財団法人佐賀県健康づくり財団 常務理事 甲佐 和宏

◇特別講演

座 長：佐賀大学医学部附属病院 呼吸器外科 診療教授 平塚 昌文

演 題：「肺がん・縦隔腫瘍の最新低侵襲手術～傷が小さく痛くなくて早期に社会復帰できる手術を目指して～」

演 者： 藤田医科大学岡崎医療センター 呼吸器外科 教授 須田 隆

○第3回（第218回 佐賀県胸部疾患アーベント・佐賀県内科医会研修会・佐賀県肺がん検診従事者講習会）

◇期 日：令和8年1月23日（金）18：30～20：00

◇会 場：佐賀メディカルセンタービル 4階 城内記念ホール

◇対 象：医師

◇学会報告

座 長：佐賀大学医学部附属病院 呼吸器内科 助教 小楠 真典

演 題：「第66回日本肺癌学会学術集会の報告」

演 者： 佐賀大学医学部附属病院 呼吸器外科 助教 手石方 崇志

◇一般演題

演 題：「肺がんを見つけたら～診断・治療のトピックス～」

演 者： 佐賀大学医学部附属病院 呼吸器内科 特任講師 中島 千穂

◇特別講演

座 長：佐賀大学医学部附属病院 呼吸器内科 診療教授 高橋 浩一郎

演 題：「肺がん患者の緩和ケアについて」

演 者： 佐賀県医療センター好生館 緩和ケア科 部長 小杉 寿文

③ 子宮（頸）がん検診従事者講習会

○第1回

（佐賀県産婦人科医会・佐賀産科婦人科学会「佐賀産婦第232回学術研修会」との共催）

◇期 日：令和8年12月7日（日）

◇会 場：佐賀メディカルセンタービル4階 城内記念ホール及びWEB開催

◇対 象：医師

◇一般演題

- ・「妊娠時一過性甲状腺機能亢進症と診断された症例における産後バセドウ病の発症」
NHO佐賀病院 産婦人科 島内 明子
- ・「佐賀県における拡大新生児スクリーニングの報告」
佐賀大学医学部 産婦人科学 津田 聡子
- ・「病院前周産期救急のためのプレホスピタルコース（J-CIMELS、NCPR）
開催について～佐賀県メディカルコントロール（MC）活動プロトコールの検証を
含めて～」
佐賀県医療センター好生館 産婦人科 野口 光代
- ・「当院における妊娠子宮嵌頓症の検討」
NHO佐賀病院 産婦人科 伊波 勇裕
- ・「美容外科での膣縮小手術に膿瘍を形成した1例」
佐賀県医療センター好生館 産婦人科 村山 美夏
- ・「子宮体癌に対する免疫チェックポイント阻害薬併用化学療法後に発症したS状結
腸穿孔の1例」
佐賀大学医学部 産婦人科学 鶴久 麻由美
- ・「閉経後の異常子宮出血を契機に診断された卵巣硬化性間質性腫瘍の1例」
高木病院 女性医療センター 大石 将平

◇特別講演

- ・「産前産後のメンタルケア漢方」
社会医療法人愛育会 福田病院 病院長 河上 祥一

○第2回

（第42回佐賀県臨床細胞学会および佐賀県産婦人科医会・佐賀産科婦人科学会「子宮がん
研修会」との合同開催）

◇期 日：令和8年3月28日（土）

◇会 場：佐賀メディカルセンタービル4階 城内記念ホール及びWEB開催

◇対 象：医師、臨床検査技師（細胞検査士）

◇一般演題

- 座 長：佐賀大学医学部 病因病態科学講座診断病理学分野 橋口 真理子
佐賀大学医学部附属病院 病理部・病理診断科 西岡 虎次郎
- 演 題：「HPV単独子宮頸がん検診に向けた考察ー過去5年間の検診実績をもとにー」
「Stage I A期肺腺癌術後に発症した髄膜癌腫症の1例」
「ホジキンリンパ腫と鑑別を要した転移性腺癌の1例」

◇特別講演 I

- 座 長：佐賀大学医学部 病因病態科学 教授 加藤 省一
- 演 題：「胆道病理と細胞診」

演 者： 久留米大学病院 臨床検査部 部長・准教授 内藤 嘉紀

◇特別講演Ⅱ

座 長：佐賀大学医学部 産科婦人科 准教授 奥川 馨

演 題：「子宮体癌の顕微鏡的形態像」

演 者： 飯塚病院 病理科 部長 大石 善丈

(2) 保健指導支援ステーション事業（県委託事業）

① 基礎研修コース

特定保健指導に従事する人材の育成と活用を目的に、厚生労働省の研修ガイドラインに沿った研修を開催しました。

【基礎研修①】

◇期 日：令和7年11月9日（日）・12月7日（日）9時～16時

◇会 場：佐賀メディカルセンタービル 3階 研修室

◇対象者：特定保健指導従事者

◇修了者：27名

◇内 容：・「佐賀県健康状態」

佐賀県 国民健康保険課 主査 宮崎 千尋

・「特定健診・特定保健指導の理念・制度・仕組み／特定保健指導の流れ、評価」

・「食生活に関する保健指導の実際」

西九州大学 健康栄養学科 教授 久野 一恵

・「喫煙に関する保健指導の実際」

佐賀県健康づくり財団 常務理事 甲佐 和宏

・「身体活動に関する保健指導の実際」

福岡大学 スポーツ科学部 教授 桧垣 靖樹

・「口腔衛生に関する保健指導の実際／生活習慣病予防のための口腔知識」

佐賀県歯科医師会 地域保健部

成人産業保健委員会 副委員長 平山 輝久

・「アルコールに関する保健指導の実際」

肥前精神医療センター 医師 松口 和憲

・「初回面接・面接演習」

佐賀大学医学部 看護学科 統合基礎看護学講座 講師 柴山 薫

・「保健指導の効果について 佐賀県の実態を知る①」

佐賀県国民健康保険団体連合会 保健師 永渕 めぐみ

・「全体のまとめ／自己学習に向けたヒント」

佐賀県 国民健康保険課 主査 宮崎 千尋

【基礎研修②】

◇期 日：令和7年12月14日（日）9時～17時

◇会 場：佐賀メディカルセンタービル 3階 研修室

◇対象者：特定保健指導従事者

◇修了者：18名

- ◇内 容：・「特定健診・特定保健指導、生活習慣病予防に関する最新情報」
- ・「個々の生活習慣に関して指導できる能力」
佐賀大学医学部 社会医学講座 予防医学分野 教授 原 めぐみ
 - ・「服薬のための保健指導」
キタ薬局 北 雄一郎
 - ・「行動変容の理論と実践、困難事例の検討」
あだち健康行動学研究所 所長 足達 淑子
 - ・「保健指導の効果について 佐賀県の実態を知る②」
全国健康保険協会佐賀支部 企画総務部
保健グループ グループ長 大江 千恵子
 - ・「全体のまとめ（質疑・応答）」
佐賀県 国民健康保険課 主査 宮崎 千尋

② 指導力向上研修コース

特定保健指導従事者が、保健指導における具体的なアプローチに必要な専門的知識や技術を習得し、対象者の行動変容に有効な保健指導が実施できるようになることを目的に、標記研修を開催しました。

【特定保健指導研修指導力向上研修】

- ◇期 日：令和8年2月1日（日）10時～16時
- ◇会 場：佐賀メディカルセンタービル 3階 研修室
- ◇修了者：23名
- ◇内 容：・「対象者一人ひとりの行動変容につながる保健指導のあり方」
社会福祉法人聖隷福祉事業団 保健事業部 運営管理センター 顧問
イノベーション人材育成センター センター長 鳥羽山 睦子

③ 人材登録事業

研修で育成した特定保健指導業務に従事できる有資格人材を、特定保健指導実施義務を担う市町等の保健指導事業に適切に活用し、特定保健指導を円滑に行うために、人材の登録を行い、県内健康保険の各保険者に情報提供しました。

（3）佐賀縣市町対策型胃内視鏡検診運営委員会事業（研修会）

がん検診に関する国の指針の改正（平成28年4月1日施行）に伴い、胃がん検診の方法に胃内視鏡検診が導入されたため、その精度管理のための研修事業を実施しました。

研修会の内容は、上記3（1）がん検診従事者講習会の②～⑤の研修会に同じです。

※上記保健活動従事者研修事業の実施形態・財源

（1）の事業は、佐賀県からの委託事業であり、委託料を財源としています。（2）の事業は、佐賀県からの委託事業で、委託料を財源としています。なお、当該事業は、佐賀県、県内市町、佐賀県医師会、佐賀県看護協会、佐賀県栄養士会、健保組合、全国健康保険協会佐賀県支部、共済組合の代表者で構成する企画会議で、研修計画等を決定し、事業を推進しています。（3）の事業は、市町からの委託事務で、委託料を財源としています。

4. がん患者保健支援事業（県委託事業）

平成27年9月に佐賀県がん総合支援センターを設置し、がんの患者・家族や遺族など、がんに関する悩みを持つ方に対して、不安や悩みの解消、治療・日常生活への意欲の増進等を支援するため、面談や電話相談、患者等間の交流事業を実施しました。

また、個々のがん患者等に対しては、面談や電話相談と交流事業で相乗的な支援ができるよう取り組みました。

（１）がん相談事業

電話相談業務専任の相談員（週5日の相談日を看護師及び保健師5名で分担）を配置し、相談専用ダイヤルを設けて、がん患者やその家族をはじめ、がんに関する悩みを持つ県民からの相談に対応しました。

◇相談開設日：毎週 月～金曜日 9時30分～13時00分 14時00分～16時30分

◇電話番号：0120-246-388（フリーダイヤル）

◇広報：当財団のホームページ、ポスターの掲示（医療機関等）
検診車ボディへの表示、チラシの配布、新聞広告（無償）等

◇電話相談件数：130件（令和6年度：230件）

◇面談件数：215件（令和6年度：226件）

（２）がん患者交流事業

がん患者及びその家族、遺族を対象に、講演会又はレクリエーション等の催事及び参加者同士が交流できる意見交換会を実施しました。

なお、社会福祉士、臨床心理士、がん相談員、保健師等の医療有資格者及び県内がん患者団体代表者等（ピアサポーター等）が参画しました。

① がん患者・家族等交流会

【がん患者・家族つどいの会】

○第1回

◇日時：令和7年7月20日（日）13時～16時

◇場所：佐賀メディカルセンタービル 1階 さん愛プラザ・3階 研修室

◇参加者：24名

◇内容：1. 「切り絵に挑戦」

切り絵アート倶楽部 代表 立石 洋二郎

2. 親睦・交流会・アンケート記入

3. 協力団体との反省会

○第2回

◇日時：令和7年11月16日（日）13時～16時

◇会場：佐賀メディカルセンタービル 1階 さん愛プラザ・3階 研修室

◇参加者：21名

◇内容：1. 「笑いヨガ体験」

中町 美佐子

2. 親睦・交流会・アンケート記入

3. 協力団体との反省会

○第3回

◇日時：令和8年3月15日(日) 13時～16時

◇会場：佐賀メディカルセンタービル 1階 さん愛プラザ・3階 研修室

◇参加者：25名

◇内容：1. 「セルフケアを学ぼう～日々の生活で実践しよう～」

ソシオの杜 代表 江頭 裕美

2. 親睦・交流会・アンケート記入

3. 協力団体との反省会

【がん遺族つどいの会】

○第1回

◇日時：令和7年8月18日(月) 19時～20時10分

◇場所：佐賀メディカルセンタービル 1階 さん愛プラザ

◇参加者：4名

◇内容：1. 交流会

2. 反省会

○第2回

◇日時：令和8年1月26日(月) 19時～20時30分

◇会場：佐賀メディカルセンタービル1階 さん愛プラザ

◇参加者：12名

◇内容：1. 交流会

2. 反省会

② 地域型がんサロン事業

各地域からの交流会への参加希望に十分に應えることができないため、各地域のがん経験者等のボランティアの協力を得て、受診している医療機関やがんの部位に関係なく誰でも参加できる地域型がんサロン（地域版がん患者等つどいの会）を開催しました。

◇開催時期：毎月又は隔月1回

◇開催場所：県内4か所（鳥栖、多久、唐津、杵島）

③ 常設型がんサロン事業

佐賀メディカルセンタービル1階に常設のがんサロン（さん愛プラザ）を設置し、がん経験者等のボランティアの協力を得て、受診している医療機関やがんの部位に関係なく誰でも参加できる場所を提供しました。

◇開催場所：佐賀メディカルセンタービル1階

◇開設日時：毎週月～金曜日 9時00分～17時00分

毎月原則第3日曜日 13時00分～16時00分

◇スタッフ：がん相談員、ピアサポーター、社会福祉士

◇内容：がん経験者、その家族等を対象にした交流、情報交換、相談の場を提供

◇利用者件数：772件（令和6年度：791件）

（3）がんピアサポーター養成事業

上記の地域型がんサロン事業をはじめ、県内の医療機関やがんサロン等において、ピアサポ

ーターとして活動する人材を養成するための研修会を開催しました。

① 第1回がんピアサポーター・フォローアップ研修およびおしゃべりサロン事業従事者等
研修会

◇日 時：令和7年6月29日（日）13時～16時

◇会 場：佐賀メディカルセンタービル 3階 研修室

◇参加者：27名

◇内 容：1. 「患者さんにどう対応するか～がんサロン編～」
NPO法人がんサポートかごしま 理事長 三好 綾
2. 親睦交流会

② 第2回がんピアサポーター・フォローアップ研修およびおしゃべりサロン事業従事者等
研修会

◇日 時：令和7年10月26日（日）13時～16時

◇会 場：佐賀メディカルセンタービル 3階 研修室

◇参加者：22名

◇内 容：「その時、どうする？～心に寄り添う対応とは何かを考える～」
独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター
臨床心理士・公認心理士 佐藤 美紀

③ 第3回がんピアサポーター・フォローアップ研修およびおしゃべりサロン事業従事者等
研修会

◇日 時：令和8年2月8日（日）13時～16時

◇会 場：佐賀メディカルセンタービル 3階 研修室

◇参加者：21名

◇内 容：「自分を知れば支援が変わる！～支援に活かす自己理解～」
佐賀大学医学部 精神医学講座 助教 松島 淳

（4）その他

① 佐賀県がん患者支援団体交流会

県内には、30か所以上のがん患者支援団体ががん患者やその家族等の悩みに寄り添った活動を行っています。しかし、支援団体間の交流の機会が今まで持たれておらず、運営方法について課題を持つ団体も少なくありません。このことから、県内のがん患者支援団体等の連携を強化及びがん患者支援者同士の意見交換や情報交換の場として、「佐賀県がん患者支援団体交流会」を開催しました。

◇日 時：令和7年7月27日（日）13時～16時

◇会 場：佐賀メディカルセンタービル 3階 研修室

◇参加者：17名

◇内 容：・活動報告会
・意見交換会
・アンケート記入

② がん講座

がん予防の知識や早期の発見・治療によってがんの克服が可能な時代であることを、広く佐賀県民の皆様にご存知いただくことを目的に、このイベントを開催しております。

また、一般の方はもちろんがん患者の方にも有意義な時間となるよう、普段聞けないようなことを医師に質問できる交流会（おしゃべり会）を講演の後に開催しました。

◇日 時：令和7年11月30日（日）13時～16時

◇会 場：佐賀メディカルセンタービル 4階 城内記念ホール

◇参加者：36名

- ◇内 容：1. 「知っておきたい乳がん治療の今～最新の薬と医療の現場～」
佐賀大学医学部附属病院 一般・消化器外科 助教 馬場 耕一
2. 「リンパ浮腫について学ぼう～今日からできるセルフケア～」
佐賀県医療センター好生館 副主任 理学療法士 押切 洋子
3. 交流会

③ A Y A week2026啓発活動

15～39歳の思春期（Adolescent）から若年成人（Young Adult）の時期にがんを罹患した患者は、「A Y A世代のがん患者」と呼ばれています。A Y A世代のがんは希少かつ多様であり、診療科も多岐にわたるため、がん拠点病院においても対応経験が限られており、十分な支援が行き届いていない現状があります。

また、この世代は就学や就労、結婚、家族計画など人生の重要な時期にあり、治療に加えて学業や仕事、性や生殖に関する課題など、さまざまな不安や困難を抱えやすい状況です。しかし、悩みを一人で抱え込みやすく、相談件数も多くはありません。

一般的に「A Y A」の認知度も十分とはいえません。そこで、より多くの方に知ってもらうため、A Y A世代を対象に平日夕方の時間帯に佐賀駅で啓発活動を実施しました。

◇日 時：令和8年3月9日（月）15時～17時

◇会 場：佐賀駅（北口及び南口）

◇主 催：公益財団法人佐賀県健康づくり財団、佐賀県

- ◇内 容：・ A Y A世代をターゲットにがん検診の啓発活動
- ・ A Y A week2026を紹介するシールを貼ったウェットティッシュの配布
 - ・ さん愛プラザがん相談の案内パンフレット・フラッグの展示

※上記がん患者保健支援事業の実施形態・財源

（1）～（4）の事業は、佐賀県からの委託料、健診・検査事業による収益及び募金収益を財源としています。

5. 健診事業

令和7年度は、巡回健診及び施設健診を事業計画に基づき、概ね実施しました。

なお、令和8年度は、佐賀県・市町と連携した受診勧奨をより推進すること、県内事業所へ各種健康診断を広報すること、健診対象者に受診の大切さを働きかけることなどに努めます。また、受診者数は年々、人口動態などの影響で特に巡回健診が減少傾向にあることから、各種健診事業規模の適正化を図ります。

(1) 施設健診

施設健診では、「人間ドック」、「事業所健診」、「毎日健診（市町健診）」などの各種健康診断を佐賀メディカルセンタービル2階で実施しました。1日100名程度の受診受入れを行い、受付時間の時差設定や土日実施（不定期）など、受診希望者の都合に合わせて受診しやすい受入体制を整えました。また、健診受診エリアを男女別で設けており（一部共有）、安心して、快適に受診できるよう環境整備や、大腸CT検査導入などのオプション検査の充実に努めました。

この他、医療機関よりご紹介の患者にCT検査、超音波検査、内視鏡検査（上部・下部）などを施行するなど、医療機関の保険診療を支援しました。

(2) 巡回健診

佐賀県から無償で貸与された検診車（17台）及び財団整備の検診車（3台）により、過疎地域や山間部地域の住民、受診者数が少ない学校や施設の児童・生徒、事業所の就労者等地理的、時間的な制約などから健診受診機会が制約される方々のため、巡回方式により県下全域で巡回健診を実施しました。

なお、市町住民健診受診が減少傾向の中、健診日程調整を行い、市町の要望に合わせ健診機会を提供し、受診者数の確保に努めました。

① 受診機会の拡大のための事業

健診受診機会の選択肢を広げる観点から、通常のX線撮影装置では撮影が困難な障害者等に対するポータブル撮影や、受診者の利便性に配慮した公民館健診などを実施しました。また、土・日・祝日の健診や夜間健診のほか、乳がん検診・子宮がん検診などの女性向けの検診については、女性スタッフだけのレディースデーを設けるなど、健診実施者のニーズに積極的に対応し、受診しやすい健診環境づくりに取り組みました。

＊土日祝日健診 82日間

＊夜間検診 7日間

＊レディースデー（女性向け検診日） 9日間

〔実施主体による事業区分〕

当財団が行っている健診・検査事業は、実施主体によって分けると以下ようになります。

- ・市町が実施する特定健康診査、がん検診等

法令等：「高齢者の医療の確保に関する法律」「健康増進法」等

対 象：市町の住民

- ・事業所健診

法令等：労働安全衛生法等

対 象：事業所の労働者

- ・学校が行う生徒、職員の健診

法令等：学校保健安全法

対 象：学校の児童、生徒、学生及び職員

- ・事業所、学校、施設等が行う結核検診

法令等：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

対 象：事業所の労働者、学校の学生・生徒等、施設の入所者

※上記健診事業の実施形態・財源

(1)～(2)の上記健診の実施者(市町、学校等管理者、事業主等)からの依頼を受けて実施しており、健診・検査事業の収益を財源にしています。

6. 健診結果フォロー事業

(1) 結果説明会の支援等

市町が行う健診実施後の受診者への結果説明会などに当財団の保健師を派遣し、住民個々の保健への理解促進と健康管理についての指導を行うとともに、要精密検査の対象者には個別の受診勧奨を実施しました。

(2) 特定保健指導事業

特定健康診査後の特定保健指導が必要な対象者に対して、保険者からの委託を受け、専門的な保健指導を実施しました。

※上記健診結果フォロー事業の実施形態・財源

(1)の事業は、一部(個別指導を内容とする結果説明会)は保健指導事業収益を財源とし、その他は、健診・検査事業収益を財源としています。(2)の事業は、保健指導事業収益を財源としています。

7. 関係団体への施設貸与事業

当財団が保有する城内記念ホール(4階)及び研修室(3階)について、当財団の用途に優先使用した上で、県民の健康増進及び疾病の予防に資する団体へ、施設を貸与(公益財団佐賀県健康づくり財団研修施設使用規程に基づき、使用料を徴収)しました。

(令和7年度実績) 貸与件数:183件

8. 臨床検査事業

県内医療機関の診療支援の一環として、検体検査を主体とし、医療機関から委託される尿・糞便等検査、血液学的検査、生化学的検査、免疫学的検査、輸血検査、微生物学的検査、病理学的検査を実施しました。

この検査事業は、医療機関等が適切な診断・治療を行うための指針となる臨床検査結果を、正確かつ迅速に提供することにより、地域医療の向上及び県民の健康増進に寄与することを目的として実施したものです。

臨床検査の実施に当たっては、主に以下の取組を行いました。

- (1) 信頼性の高い精度管理の確保のため、日本医師会、日本臨床衛生検査技師会等が実施する外部精度管理調査に積極的に参加し、精度の向上に取り組みました。なお、各種精度管理調査結果は概ね良好でした。
- (2) 採算性に乏しい検査への対応として、手間や時間を要し採算が取りにくい細菌検査や輸血検査等を受託実施しました。また、過疎地域や山間部地域などを含む県内医療機関に対し、委託検体数の多寡にかかわらず、原則として1日2回の集配訪問を行うとともに、更には緊急検査など特別回収にも対応し、適切かつ迅速な診療支援に努めました。なお、委託検体の利用状況を踏まえ、集配体制の一部コース見直しを行いました。

- (3) 医療DXを活用した医療機関支援として、インターネットを活用した臨床検査データ通信システム「Webきゃどらいん」によるIT支援に加え、医療機関の電子カルテと連携可能な中継器システムを提供し、迅速かつ、利便性の高い検査サービスの提供に努めるとともに、希望する施設へシステムの導入を推進しました。これらの取組により、新規顧客の獲得及び検査利用の促進につながりました。
- (4) 医療機関の精度管理事業として、県内医療機関における臨床検査測定値（検査結果）の精度向上を図るために県医師会、県臨床検査技師会と共催で臨床検査精度管理調査を実施し、その結果を広く関係者に還元する報告会を開催しました。
- (5) 医療機関への広報活動として、「財団検査ニュース」を毎月定期的に発行し、身近な臨床検査に関する情報を提供することで、支援サービスの充実に努めました。